

大綱 5 環境・都市基盤												
施策 51 環境保全												
実施施策 511 環境保全体制の整備と啓発推進												
創生 評価部局： 総合政策部 関連部局： 市民自治部												
実施施策の目標		市民が健康で快適に生活できる環境を維持するために、騒音・振動、河川等の水質に関する調査や大気汚染状況、航空機騒音の継続した環境監視を行うとともに、必要に応じて事業者等への指導を行い、身近な大気や騒音、水質などの状況が良好な状態を維持することを目指す。 地球温暖化対策の推進に向けて、温室効果ガス排出量の削減を図るためには、家庭部門における温室効果ガス排出量の削減が課題となっており、各家庭の行動変容を促すことが必要である。そのために、産官学連携による啓発イベントの実施等により、環境に関心がない方にも啓発を推進し、市民一人ひとりの自発的な行動変容を促し、ライフスタイルの自発的な変容を促すような啓発を推進していく。他にも、伊丹市独自の環境マネジメントシステムの運用による環境負荷低減、市の施設から排出される温室効果ガス排出量の効果的な削減を図ることで、「伊丹市地球温暖化対策推進実行計画」における目標達成に向けた省エネルギー対策に取り組むとともに、「市民が主体的に環境負荷の低減に取り組むまち」を目指す。										
令和4年度の計画		本施策については、「伊丹市環境基本計画(第3次)(令和3～10年度)」に基づき、市民・事業者との協働により気候変動対策等の取組を行う。 騒音・振動、河川等の水質に関する調査、大気汚染状況、航空機騒音の継続した環境監視を行うとともに、必要に応じて事業者等への指導を行う。また、市内事業者の開発事業にかかる環境影響評価について、要綱に基づき適切に実施することにより、環境の状況が良好な状態を維持することを目指す。 気候変動、地球温暖化対策については、温室効果ガス排出量削減に向けて、市民一人ひとりの行動変容を促すための関係機関と連携したCOOL CHOICE啓発事業や、再エネ普及拡大のための太陽光パネル等の共同購入支援事業、行政活動における環境負荷の低減のための環境マネジメントシステムの運用、公用車の電動化や公共施設で使用する電力の脱炭素化等に取り組む。										
令和4年度事後評価		☆☆☆☆	評価の理由	環境監視について計画通りに調査及び常時監視を実施できた。また、環境影響評価における審査も計画通り行うことができた。気候変動、地球温暖化対策について、民間企業等と連携した環境啓発イベントの実施や、再エネ普及拡大に向けた各種支援事業の実施により、市民・事業者の行動変容を促した。また、再エネ設備導入ポテンシャル調査を実施し、地球温暖化対策に関する諸計画の策定とゼロカーボンシティを宣言した。								
成果		工場等の公害発生源に対する監視を適切に実施できた。民間企業等と連携し日常生活での脱炭素に資する取組の啓発イベントの実施、環境問題をテーマとしたポスター等の募集を行った。また、市民向けに太陽光発電等共同購入支援事業及び事業者向けに再エネ電力共同調達支援事業を実施し、再エネ普及拡大を促進した。さらに、本市の公共施設を対象とした再エネ設備導入ポテンシャル調査を実施し、調査結果等を踏まえ、伊丹市環境基本計画(第3次)(改訂版)及び第4次伊丹市地球温暖化対策推進実行計画(事務事業編)を策定するとともに、ゼロカーボンシティを宣言した。										
課題		環境基準達成率の維持・向上が必要である。 COOL CHOICE啓発事業等については、市民の脱炭素に向けた行動変容が促進されるよう、より効果的な啓発を行う。										
令和5年度での対策・対応		騒音・振動、河川等の水質に関する調査、大気汚染状況、航空機騒音について、継続した環境監視を行う。必要に応じて、関係機関と連携して、事業者等への指導を行う。 気候変動、地球温暖化対策については、継続して事業を実施するとともに、事業内容の充実を図るべく、関係機関や民間事業者等との連携を検討する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	温室効果ガスの総排出量(t-CO2)	↓	市の施設から排出される温室効果ガスの総排出量		目標		27,818	27,059	26,300	25,541	
						実績	24,619	25,404	24,666			
	②	環境ポスター・標語応募率(%)	↑	環境ポスター・標語の応募率 応募件数/市内小・中学校児童数(%)		目標		20	20	20	20	
						実績	22	16.6	18.8			
	③	イベント開催時の環境啓発者数(人)	↑	イベント等での環境啓発者数		目標		1,000	1,000	1,000	1,000	
						実績	690	4,052	5,164			
	④	水質環境基準達成率(%)〈生物化学的酸素要求量(BOD)〉	=	達成地点数/測定地点数(%) ※BOD:水のきれいさを表す指標		目標		100	100	100	100	
実績						100	100	100				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
511013	環境監視事業				7,809	20,153	6,659	22,885	02 01 12	グリーン戦略室		
511022	環境監視事業(騒音監視システム更新)				0	5,878	329	3,390	02 01 13	グリーン戦略室		
511033	地球温暖化対策推進事業			○	5,025	26,954	10,172	33,056	02 01 12	グリーン戦略室/生活環境課		
511040	環境マネジメントシステム事業				519	15,954	513	13,562	02 01 12	グリーン戦略室		
事業費合計(千円)					R3		R4					
					13,353		17,673					

大綱	5	環境・都市基盤
施策	51	環境保全
実施施策 512 環境美化と公衆衛生の向上		
評価部局： 市民自治部		関連部局： ー

実施施策の目標	多くの自治会に対し清掃時の支援を行うとともに、市民や事業者等と協働してばい捨てや路上喫煙防止の啓発や指導などを行い、環境美化意識の向上及び活動の推進に努める。 市営斎場の維持管理・運営を適切に行い、円滑な火葬業務の実施と利用者の満足度を確保する。 市墓地の適正な管理を行い、空き区画の確保及び貸与を進める。また、合葬式墓地の運営管理を行うことで多様化する墓地形態への市民ニーズや不足する市墓地への需要に対応する。 市民団体と協働して、地域猫活動を推進することで、野良猫による衛生問題に対応し、良好な生活環境を目指す。									
令和4年度の計画	地域での清掃活動を支援することで、環境美化意識の向上及び活動の推進に努める。 中心市街地での路上等喫煙防止及び環境美化の啓発は引き続き地域団体と協働して行うとともに、伊丹市環境部連絡会と連携し、ばい捨て追放キャンペーン月間の内容を検討し、実施する。 合葬式墓地を適正かつ円滑に管理し、安定した運用を目指す。また、引き続き市墓地の空き区画募集を行う。 市営斎場の火葬施設の修繕を計画的に実施し、安定的な稼働を行うとともに、改修した地下施設の利用率向上を図る。 野良猫衛生対策事業については、不妊・去勢手術費の補助等を行うことで、地域の環境衛生改善に努める。 西台・JR伊丹駅西側公衆トイレについて、整備に向けた検討を進める。									
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	自治会等が行う地域清掃活動に対する支援や中心市街地の清掃委託業務などの継続的な実施により、環境美化の向上を図った。また、市営斎場の適切な維持管理・運営による円滑な火葬業務の実施により、公衆衛生の向上に寄与することができた。							
成果	自治会等への地域清掃支援や伊丹市環境部連絡会と連携して実施したばい捨て追放キャンペーンにより、まちの美化および市民の環境美化意識の向上に努めることができた。 また、合葬式墓地の周知を行った結果、引き続き順調な申込があった。									
課題	市営斎場および合葬式墓地について、令和6年度からの新たな指定管理期間に向け指定管理者の選定を行う必要がある。 公衆トイレ整備保全事業について、中心市街地の公衆トイレが老朽化しており、市民および来街者が快適に利用できるような整備が必要である。									
令和5年度での対策・対応	市営斎場・合葬式墓地の指定管理者の選定を行う。 公衆トイレ整備保全事業について、中心市街地の西台・JR伊丹駅西側公衆トイレの再整備にあたり、地域住民や関係団体等と協議を行う。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	地域清掃等支援件数(件)	↑	地域清掃等のごみ収集申込依頼件数	目標		1,100	1,100	1,100	1,100
					実績	771	686	726		
	②	中心市街地のごみ収集体数(t)	↓	中心市街地清掃におけるごみの収集体数	目標		21	21	21	21
					実績	29	24.2	25		
	③	火葬炉稼働率(%)	=	年間最大火葬件数に対する年間火葬実績件数の割合	目標		83	83	83	83
実績					78	86	94			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目	担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費		
512010	環境美化活動支援事業				36,592	6,298	37,187	6,357	04 01 05	生活環境課
512020	環境美化啓発事業				1,590	6,298	1,318	6,357	04 01 05	生活環境課
512030	市営斎場管理運営事業			○	48,351	6,382	51,894	6,357	04 01 06	生活環境課
512042	市営斎場整備保全事業				141,378	6,298	115,755	6,357	04 01 06	生活環境課
512050	市墓地管理事業				7,024	6,382	7,228	6,357	04 01 06	生活環境課
512060	野良猫衛生対策事業				830	6,298	511	6,357	04 01 05	生活環境課
512070	公衆トイレ整備保全事業				4,807	6,298	2,413	5,509	04 01 05	生活環境課
事業費合計(千円)					R3		R4			
					240,572		216,306			

大綱	5	環境・都市基盤
施策	52	循環型社会の形成
実施施策 521 3Rの推進とごみの適正処理		
評価部局： 市民自治部		関連部局： ー

実施施策の目標	循環型社会の実現に向けて、廃棄物の発生抑制や再資源化、適正処理が行われるまちを目指し、市民や事業者に対し、廃棄物の減量や発生抑制についての周知啓発に取り組む。 食品ロスの削減については、市民や、市内の飲食店舗や事業者に向けた周知啓発を行う。 再資源化について、廃棄物の中に紙などの資源となるものが含まれていることから、適正に分別し排出することで資源物として再利用できることを市民や事業者にも周知する。 発生した廃棄物を適正に処理するため、市民や事業者には適切な分別と排出ルールをお知らせするとともに、日頃から安定的な収集体制や処理施設の維持管理をして行く。		
令和4年度の計画	市民団体との協働や、令和3年度から拠点回収でも開始したフードドライブを広く周知し、食品ロス削減に取り組む。 出前講座や、イベント等を活用し、排出抑制や、適正な資源物の分別についてさらなる啓発を行い、ごみの減量を図る。 事業者には、啓発物や搬入物検査等により、適切な排出と資源物の分別を啓発する。 平成30年3月作成の一般廃棄物処理基本計画の中間目標年度となることから、ごみ種別毎の排出量の精査に努めるとともに、令和5年度審議会に向けた中間年度以降の計画目標値や計画内容等の見直しについて検討を行う。 豊中市伊丹市クリーンランドリサイクルプラザにおいて、充電式電池等を原因とした火災検知が増えていることから、ボックス回収や拠点回収の充実等、適切な排出に向けた環境整備と周知・啓発を行う。 新型コロナウイルス感染症等への対応について、委託業者等と緊密に連携し、収集業務を継続できる体制整備を引き続き行うとともに、ごみ袋の破裂等の防止や、マスク等の排出方法について広く市民へ協力を依頼する。		
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	拠点回収におけるフードドライブの実施をさらに2か所増やし、未利用食品を有効に活用するフードドライブ活動が市民生活に定着するよう努めた。充電式電池等が適切に処理されるよう、令和4年度中に拠点回収を2か所、回収ボックスを5か所増設し、出しやすい環境に努めた。
成果	拠点回収におけるフードドライブで未利用食品を約1.2トン集めることができた。また、火災の原因となる充電式電池を含む小型家電や充電式電池について、約6トンを経点やボックスによる回収をすることができた。		
課題	事業系ごみの食品ロスについての削減の取り組みを行う必要がある。充電式電池等による火災防止のため、更なる周知啓発を行う必要がある。一般廃棄物の適切な処理についてはライフラインとしての責務があるため、新たな感染症や事故や災害等による収集に支障が出ないよう市民への理解を深めるとともに、携わる者全てが改めて業務継続の責務を果たす体制を構築する必要がある。		
令和5年度での対策・対応	事業系ごみの食品ロス削減の啓発のため、食品ロス削減協力店登録事業を推進する。充電式電池内蔵製品からの車両や施設での火災防止のため、拠点回収や回収ボックスについて、広く啓発を行う。発生した廃棄物の適正な処理のため、新たな感染症や緊急事態時も事業継続についてさらに実効性を高めるべく、委託業者との協議を続ける。		

成果指標	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
①	発生抑制後の家庭系ごみ発生量(t)	↓	ごみの発生量(資源物含む)(伊丹市一般廃棄物処理基本計画より)	目標	40,907	40,562	40,233	39,872
				実績	40,750	40,642	39,298	
②	発生抑制後の事業系ごみ発生量(t)	↓	ごみの発生量(伊丹市一般廃棄物処理基本計画より)	目標	22,382	22,171	21,961	21,751
				実績	22,611	21,345	21,184	
③	最終処分量(t)	↓	埋立量(伊丹市分)(資源物の分別によりごみを減らし埋立場の延命を図る)	目標	7,262	7,184	7,107	7,029
				実績	7,020	6,705	6,569	
④	資源化率(%)	↑	発生抑制後のごみ発生量に対する資源化量の割合・(目標: 資源回収量(市収集量+集団回収量+剪定枝葉)÷発生抑制後のごみ発生量×100)・(実績: 資源回収量(資源ごみ収集量+集団回収量+剪定枝葉+中間処理後の資源化物)÷発生抑制後のごみ発生量×100)	目標	17.4	17.6	17.8	17.9
				実績	17.5	17.8	17.6	
⑤	市民一人あたりごみ排出量(g)	↓	市民一人当たりの年間のごみ排出量(日平均)(環境負荷の観点からリデュース(発生抑制)を推進するため、燃やすごみ、燃やさないごみ、資源物、集団回収を含んだ数値とする)	目標	561	556	549	546
				実績	561	563	546	

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
521013	ごみ減量化推進事業		1,379	92,535	1,247	93,406	04	02	01	環境クリーンセンター
521022	し尿公共下水道放流施設の効率的運用事業		48,232	8,397	59,714	8,476	04	02	03	環境クリーンセンター
521030	環境クリーンセンター管理運営事業		20,632	3,443	22,423	3,475	04	02	01	環境クリーンセンター
521042	環境クリーンセンター整備保全事業		5,511	336	18,870	339	04	02	01	環境クリーンセンター
521052	環境クリーンセンター車両維持管理事業		7,789	3,695	25,662	3,729	04	02	01	環境クリーンセンター
521060	塵芥・資源物適正収集事業		557,210	116,802	557,452	117,901	04	02	02	環境クリーンセンター
521070	豊中市伊丹市クリーンランド負担金事業		673,873	3,779	679,294	3,814	04	02	01	環境クリーンセンター
521080	リサイクル・再資源化推進事業		18,950	6,298	18,422	5,933	04	02	01	生活環境課
521100	有害鳥獣等捕獲事業		1,552	6,214	1,375	6,272	04	02	02	環境クリーンセンター

事業費合計(千円)	R3	R4
	1,335,128	1,384,459

大綱 5 環境・都市基盤												
施策 53 公園・緑地・生物多様性												
実施施策 531 緑化の推進および生物多様性の保全												
評価部局： 都市交通部 関連部局： ー												
実施施策の目標		伊丹市生物多様性みどりの基本計画2021に基づき、昆陽池・瑞ヶ池・緑ヶ丘の大規模公園を核とし、それらと猪名川・武庫川の両河川をつなぐ瑞穂・伊丹緑地など公園緑地等の生態系ネットワークの形成を推進し、自然環境の保全・再生に取り組む。また、身近なみどり環境の充実を図るため、市民協働による緑化の推進と生物多様性に係る取組の推進に努める。 具体的には、公園や道路など公共スペースや市民・事業者の身近な場所での自主的な緑化活動を支援するため、花とみどりのまちづくり市民サポーター養成講座を開講し、活動を牽引する人材の育成を図るとともに、公園アダプトや市民緑化協定などの継続に努める。 生物多様性の保全・再生では、昆陽池公園を中心にした市民協働の取り組みを推進するとともに、伊丹市昆虫館において昆虫をはじめとする身近な生き物に係る展示など、子どもの自然環境学習に重点を置いた事業を展開することで市民意識の向上に努める。										
令和4年度の計画		伊丹市生物多様性みどりの基本計画2021に基づき、市民との協働により身近なみどりの充実や生物多様性の保全、再生に努める。具体的には、市民緑化協定や公園アダプト事業により、市民団体の緑化活動への活動支援を行うことで市域緑化の推進を図る。また、花とみどりのまちづくり市民サポーター養成講座やみどりの相談事業などの各種講座を実施することで、緑化活動の人材を育成するとともに、市民の緑化意識の向上に努める。 生物多様性の保全や再生については、市民協働により昆陽池公園において生態系に配慮した植栽管理などを継続するとともに、ホタル、オニバス、デンジソウなど貴重な動植物の保護育成や、ヨシ原の再生、地域産苗木の栽培・植樹等に努める。また、生きものマイスター講座等を開講し、生物多様性に関する市民活動に携わる人材の育成を図るとともに、伊丹市生物多様性交流フェスティバルを開催することで、関係団体の情報共有を図るとともに、広く市民への普及啓発にも努める。 また、身近にチョウに触れ合える環境づくりとして、ウマノスズクサ等チョウの食草の栽培を行うとともに、市民への配布や昨年度新たに整備された今池緑地への植栽等を行う。 みどりのプラザ・昆虫館については指定管理者による適正な施設運営に努めるとともに、指定管理者と連携するなか市域の緑化活動や生物多様性に関する普及啓発活動を進める。										
令和4年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	本年度についても新型コロナ感染症対策による活動の自粛や、後継者不足等による活動参加人数の減少の影響はあるものの、市民協働による緑化の推進と生物多様性に係る取組は安定して継続できている。								
成果		新型コロナ感染症対策により活動回数を減じた事業もあったが、概ね実施することができた。また、市民協働による緑化の推進、生物多様性の保全、各種講座やイベント等の実施により人材育成や啓発に努めた。										
課題		高齢化や後継者不足により、市民緑化協定等における活動人数は減少しつつある。また、新型コロナ感染症対策により活動を自粛した結果、自然環境保全活動への取組等については、増加を図ることはできなかった。										
令和5年度での対応		今後も高齢化や後継者不足に対応するために、引き続き講座やイベントの実施を通じて人材の発掘・育成を行う。また、生物多様性に関する市民活動等を継続し、その充実を図ることで在来生物の保全に努める。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	市民緑化協定件数(緑化維持管理+コミュニティ花壇管理運営+公園アダプト)(件)	↑	緑化維持管理+コミュニティ花壇管理運営+公園アダプトの各年度毎の協定合計件数、市民の緑化活動の取組状況を表す。	目標			115	115	115	115	
					実績	114	111	112				
	②	在来生物の種類数(%) *H26実績を100%とする	↑	生物多様性の保全と再生の状況を表す(昆陽池公園における在来生物(鳥類、蝶類、トンボ類、魚類)の種類数)	目標			115	115	115	115	
					実績	112	118	117				
	③	自然環境保全活動に取り組む市民団体と事業者の年間活動延人数(講座参加者数を含む)	↑	自然環境の保全と再生に取り組む市民団体と事業者の合計人数。自然環境保全活動の取組状況を表す。	目標			900	900	900	900	
					実績	782	523	569				
	④	サポーター養成講座修了者数(人)	↑	「花と緑のまちづくり市民サポーター」養成講座の修了者数。緑化に関心の高い市民の割合を表す。	目標			30	30	30	30	
実績					22	10	6					
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
531010	みどりのプラザ管理運営事業			○	18,743	7,977	19,162	8,052	08 03 05	みどり自然課		
531033	生物多様性施策推進事業			○	36,115	14,695	40,453	15,681	08 03 05	みどり自然課		
531040	緑化推進事業			○	12,639	12,596	12,637	12,290	08 03 05	みどり自然課		
531050	昆虫館管理運営事業			○	110,951	9,237	110,997	9,747	08 03 05	みどり自然課		
事業費合計(千円)					R3		R4					
					178,448		183,249					

大綱 5 環境・都市基盤	
施策 53	公園・緑地・生物多様性
実施施策 532 公園緑地の整備・保全	
評価部局: 都市交通部	関連部局: ー

実施施策の目標	市民が安全・安心に利用できる憩いの場を提供するため、公園・緑地の新規整備を進め、既存の公園においては施設の老朽化対策として、長寿命化計画に基づき計画的に再整備を行う。公園の再整備においては地域ニーズに対応した施設の改修・更新を行う。また、遊具・樹木などの公園施設の適切な維持管理を行い、地域住民による清掃など、市民との協働による公園の維持管理を推進する。											
令和4年度の計画	老朽化した公園施設の更新を行うため、あぜみち公園他3公園において再整備工事を実施し、瑞穂緑地において循環ポンプ等の水景施設を改修するため詳細設計委託業務を実施する。また、下河原緑地において展望ウッドデッキを改修するとともに、児童遊園地のフェンス及び遊具の更新を実施する。											
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	あぜみち公園他4公園の再整備、南式タ塚公園他5公園・千僧広畑児童遊園地他4児童遊園地の遊具・フェンス等の更新、下河原緑地展望デッキ上部の更新及び瑞穂緑地水景施設のポンプ設備等を更新するための詳細設計委託を行った。また、遊具及び公園施設の点検を実施し、老朽化した施設の早期発見に努め、緊急性の高いものから順次、計画的に修繕及び更新を行った。									
成果	あぜみち公園・若菱公園・千僧公園・新伊丹公園・長尾公園の再整備、南式タ塚公園他5公園・千僧広畑児童遊園地他4児童遊園地の遊具・フェンス等の更新、下河原緑地展望デッキ上部の更新及び瑞穂緑地水景施設更新のための詳細設計委託を行った。											
課題	老朽化した遊戯施設、一般施設の再整備の推進											
令和5年度での対策・対応	老朽化した公園施設の更新のため、南野平塚公園他3公園の再整備工事、瑞穂緑地の循環ポンプ設備の更新工事、森本児童遊園地他2公園の遊具・フェンスの更新工事を行う。また、緑ヶ丘公園の遺族会館跡地を広場として整備すると共に、桜ヶ丘(Ⅱ)児童遊園地の借地返還に伴う撤去・フェンス等設置工事を行う。さらに昆陽池公園多目的広場トイレの建て替えに向けた構造計算委託を行う。											
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	市民1人あたりの都市公園面積(㎡/人)	↑	都市公園面積÷伊丹市人口	目標			6.1	6.1	6.1	6.1	
					実績	6.37	6.43	6.45				
	②	公園のバリアフリー化率(%)	↑	都市公園と児童遊園地におけるバリアフリー化整備率	目標			85	85.5	86	86.5	
					実績	84.6	86.8	89.5				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
532012	公園緑地等整備保全事業			○	62,334	18,473	116,335	20,342	08	03	05	公園課
532020	公園緑地等管理運営事業				293,766	30,229	292,485	27,123	08	03	05	公園課
532030	公園管理車両更新事業				0	0	8,051	848	08	03	05	公園課
事業費合計(千円)					R3		R4					
					356,100		416,871					

大綱 5 環境・都市基盤											
施策 54 都市計画・住環境											
実施施策 541 建築物の安全・安心の確保											
評価部局： 都市活力部 関連部局： ー											
実施施策の目標		今後起こりうる南海トラフ地震や内陸活断層地震に備え、簡易耐震診断推進事業や、耐震改修工事等へ補助する住宅耐震化促進事業、建物所有者へのセミナー等による啓発事業を実施し、住宅の耐震化向上を目指し市民の安全確保を図る。 建築指導や定期パトロール、建築物に係る各種手続き審査を通じ、建築物に関する法令遵守を推進し、秩序ある都市環境を維持する。 全国的に管理不全の空き家が増加し、周辺環境に悪影響を及ぼしている状況の中、建物所有者等に対するセミナー等による啓発相談事業や、除却補助等の実施を通じて、管理不全の空き家の発生を予防する。また、既存の住宅をうまく活用し、ライフスタイルにあった住まいを提供するため、さらなる既存住宅市場の活性化や空き家の予防・利活用を促進し、魅力ある都市環境が備わった市街地の形成を図る。									
令和4年度の計画		住宅耐震化促進等事業については、人がより多く集まる地域防災訓練などの機会を活用し、耐震啓発模型(ピノキオぶるる)の実演や耐震化手法の説明によって耐震化に係る建物所有者の意識向上を図る。 建築行政事務事業については、違反建築物の発生予防や建築行為に必要な諸手続きの徹底を図るため、建設予定地に関する調査を実施するとともに、違反建築防止週間等に加え、臨機にパトロールや啓発を実施する。 空家等対策事業については、所有者が建物の将来について検討できる「建物管理シート」を活用しNPO法人等との連携を図る中で、空家等の適切な管理の啓発を行う。また、管理不全に陥った空家等に対し、除却補助等を活用し除却を促すなど、解消に向けた取り組みを進める。 空き家活用支援事業については、市内の空き家を購入し、居住用として活用する者に対し、空き家の改修工事に要する費用の一部を補助することにより、市内の空き家の解消を図り、併せて市内への定住を促進する。 分譲マンション支援事業については、管理運営上の様々な課題に対し、その課題解決に向けた情報提供を行うとともに、居住者の快適なマンションライフ支援を目的とした専門講師によるマンション管理セミナーを開催する。									
令和4年度事後評価	☆☆	評価の理由	法令等に基づき、適切な指導・処理を行った。 空き家の改修や分譲マンション共用部分のバリアフリー化に係る工事費の一部を補助するとともに、マンション管理セミナーを開催した。								
成果		住宅耐震化促進等事業については、建物所有者に対するセミナー等により周知啓発を行った。 建築行政事務事業については、定期的にパトロールや指導を実施した。 空家等対策事業については、建物所有者等に対するセミナー等により周知啓発を行うと共に、臨機に助言・指導を実施した。 空き家活用支援事業については、補助制度の周知を図り、2件の補助を行った。 分譲マンション支援事業については、マンション管理セミナーを2回開催するとともに、専門家による個別相談会を行うなどセミナーの充実を図った。また、分譲マンション共用部分のバリアフリー化工事に対し、1件の補助を行った。									
課題		住宅耐震化促進等事業については、住宅耐震化の重要性及び必要性に係る周知啓発を積極的に進める必要がある。 建築行政事務事業については、建築物に関する法令遵守の推進のためのパトロールや指導を積極的に進める必要がある。 空家等対策事業については、空家等の適切な管理のための周知啓発及び危険な状態にある空家等の解消のための助言・指導を積極的に進める必要がある。 空き家活用支援事業については、事業のさらなる周知を行う必要がある。 分譲マンション支援事業については、高経年マンションの増加が見込まれており、施策の検討を行う必要がある。									
令和5年度での対策・対応		住宅耐震化促進等事業については、引き続き、建物所有者の意識向上を図るため、適切な事業実施を行う。 建築行政事務事業については、引き続き、秩序ある都市環境を維持するため、適切な事業実施を行う。 空家等対策事業については、引き続き、管理不全の空家等の発生の予防及び管理不全に陥った空家等の解消のため、適切な事業実施を行う。 空き家活用支援事業については、引き続き、事業の周知を図る。分譲マンション支援事業については、引き続き共用部分バリアフリー化助成を行うとともに、市民のニーズや時代に即した議題を取り上げたマンション管理セミナーを行う。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	建築行政事務事業(完了検査実施率)(%)	=	完了検査実施件数／確認済証交付件数(抽出件数(4月～6月))	目標	目標	100	100	100	100	
						実績	96	94	94		
	②	住宅耐震化促進事業(戸)	↑	耐震改修工事、建替工事及び除却工事に対する補助実施戸数(除却工事：補助実施戸数×0.5)	目標	目標	20	20	20	20	
						実績	17	9	14		
	③	分譲マンション支援事業の参加人数(人)	↑	分譲マンションの管理組合等に対する管理セミナー・相談会への参加人数(管理組合)	目標	目標	49	50	51	52	
実績						38	34	45			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費			
541010	住宅耐震化促進等事業				9,263	8,397	13,235	8,476	08 03 06	建築指導課	
541020	建築行政事務事業				1,007	64,657	617	71,198	08 03 06	建築指導課	
541030	空家等対策事業			○	0	7,977	0	8,900	08 03 01	建築指導課	

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R3(千円)		R4(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
541041	空き家活用支援事業	○	1,700	5,038	3,000	5,085	08	04	02	住宅政策課
541050	分譲マンション支援事業		451	5,878	175	3,814	08	04	02	住宅政策課
事業費合計(千円)			R3		R4					
			12,421		17,027					

大綱	5	環境・都市基盤
施策	54	都市計画・住環境
実施施策 542 適正な土地利用と景観まちづくりの推進		
評価部局： 都市活力部		関連部局： ー

実施施策の目標	今後迎える人口減少や生産緑地地区の指定後30年を迎える「2022年問題」など、本市を取り巻く環境の変化を中長期的に見据え、伊丹市都市計画マスタープランに基づき適正・合理的な土地利用の誘導を図る。住宅地、商業・業務地、工業地、自然・緑地・農地について、それぞれの土地利用の目標に向けて充実を図るとともに、用途地域や風致地区など地域の特性に応じた地域地区の指定等を行うことにより、地域に応じた良好な市街地環境の形成を図る。 また、周辺の景観に大きな影響を与える大規模な建築物や重点的に景観形成を図る区域内的の建築物、並びに道路、公園、河川などの公共空間について伊丹市景観計画、伊丹市公共施設景観指針、伊丹市公共サインガイドライン等に基づき適切なデザイン誘導を実施することで、本市に残された貴重な自然的景観、歴史的景観の保全継承を推進するとともに、新たにつくられる市街地の景観について地域景観と調和した良好な景観資源の形成を図る。											
令和4年度の計画	引き続き、伊丹市都市計画マスタープランに基づき適正・合理的な土地利用の誘導を図る。R4年度に予定されている用途地域及び用途地域を補完する高度地区等の兵庫県下一斉見直しに向けて、都市計画決定の手続を行う。 また、周辺の景観に大きな影響を与える大規模な建築物や重点的に景観形成を図る区域内的の建築物、並びに道路、公園、河川などの公共空間についてデザイン審査小委員会を実施し、専門的知見をもった学識経験者からの意見により、助言・指導を行う。引き続き、伊丹市景観計画、伊丹市公共施設景観指針、伊丹市公共サインガイドライン等に基づき適切なデザイン誘導を実施することで、本市に残された貴重な自然的景観、歴史的景観の保全継承を推進するとともに、新たにつくられる市街地の景観について地域景観と調和した良好な景観資源の形成を図る。											
令和4年度事後評価	☆☆☆☆	評価の理由	伊丹市都市計画マスタープランに基づき適正かつ合理的な土地利用の誘導を図り、住居系・工業系用途地域内における大規模集客施設(6000㎡超)の立地を抑制した。用途地域等に関する都市計画の見直しについては、該当箇所は無かった。また、建築物等の景観指導を行うなど景観計画に即した景観形成を行い、デザイン審査における景観計画適合率は100%であった。									
成果	・都市計画マスタープランに即した都市計画変更を行い、適正な土地利用等の誘導を図った。 ・都市景観審議会に諮問し、建築物及び工作物等に関して景観誘導を図った。											
課題	・今後とも都市計画マスタープランに即した、適切な土地利用の誘導を進める必要がある。 ・重点的に景観形成を図る区域の市民団体等の会議にて、景観計画や助成制度の説明会を実施する。											
令和5年度での対策・対応	・必要に応じ都市計画変更を実施していくとともに、遅滞なく事務処理を進めていく。 ・景観計画に規定した色彩基準や、景観形成基準等の指導を行い、連続性のある街並み形成及び伊丹らしい景観形成を図る。											
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	住宅地、工業地における大規模集客施設(6,000㎡超)の立地数(件)	=	住居系、工業系用途地域内における大規模集客施設(6,000㎡超)の開発事業承認件数	目標		0	0	0	0		
					実績	0	0	0				
	②	デザイン審査における景観計画適合率(%)	=	景観法に基づく届出における景観計画に定める行為の制限に適合する割合	目標		100	100	100	100		
実績					100	100	100					
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
542010	都市計画施策推進事業				9,659	11,756	3,638	11,866	08	03	01	都市計画課
542020	道路位置指定事業				30	5,458	0	5,509	08	03	06	都市計画課
542030	開発許可・指導事務事業				21	16,374	33	16,528	08	03	06	都市計画課
542040	都市景観形成事業				4,749	16,794	330	16,952	08	03	06	都市計画課

事業費合計(千円)	R3	R4
	14,459	4,001

大綱	5	環境・都市基盤
施策	54	都市計画・住環境
実施施策 543 公営住宅の適正管理		
評価部局： 都市活力部		関連部局： ー

実施施策の目標	「住生活基本計画」における市営住宅の整備・管理に関する基本方針に基づき、公平かつ時代に即した適切な入居管理の推進をするとともに、特に既存市営住宅において、居住性の向上を目的とした高齢者等が快適で安全に暮らすことのできる住環境を確保するための改善工事を実施する。 また、一定の耐震性を満たしているが、十分ではない住宅の耐震改修工事を実施するとともに、長寿命化を目的とし、適切な時期に外壁や屋上の耐久性向上の改修工事に取り組み、効率的かつ計画的に市営住宅を維持管理する。		
令和4年度の計画	指定管理者との連携により、低額所得者、高齢者、障がい者等に対して、安定した住生活を確保するために、市営住宅への入居者募集を年3回実施し、応募のない住戸については、引続き随時受付を行う。 入居者に家賃等の滞納が生じた場合は、家賃等支払の催告の措置を講じることや納付指導を早期に実施し、家賃滞納対策の強化を継続する。 市営住宅等整備計画に基づき、エレベーターの設置工事や一定の耐震性は満たしているものの十分でない住宅の耐震補強工事を実施するとともに、既存市営住宅を長期にわたり維持するために外壁・屋上防水改修工事を実施する。 高齢者の入居可能な住宅の整備を図るため、エレベーターが設置されていない市営住宅の1階住戸内の段差解消や手すり、浴室改修を行うなどの高齢者向け改修工事を実施する。 用途廃止事業(玉田団地1・2・3・5号館、荒牧第6団地、荒牧第7団地)については、引続き入居者の住替え費用等を支援し計画的に進める。		
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	指定管理者と連携し、市営住宅の適切な維持管理及び利用者サービスの向上を図った。また、市営住宅等整備計画に基づき耐震補強工事及び外壁・屋上防水改修工事を行い建物の長寿命化を図るとともに、高齢化への対応としてエレベーターの設置工事や高齢者向け改修工事を実施した。用途廃止事業については、入居者の住替え先住宅の案内や引越し費用等の支援を行った。
成果	入居者募集のホームページの更なる充実を図るとともに、3回の定期募集や随時募集を実施した。家賃等の滞納世帯に対しては、早期に連絡して納付相談を行うことで家賃等の収納率向上に努めた。また、市営住宅等整備計画に基づき、耐震補強工事、外壁・屋上防水改修工事、高齢者向け改修工事、エレベーター設置工事を計画的に実施した。		
課題	耐震補強工事及び外壁・屋上防水改修工事は、騒音、振動なども発生し、住民生活に影響を及ぼすことから、丁寧な説明をしながら実施していく必要がある。		
令和5年度での対策・対応	引き続き、市営住宅等整備計画に基づき耐震補強工事及び外壁・屋上防水改修工事を行い建物の長寿命化を図るとともに、高齢者向け改修工事を実施し、高齢世帯向けの住宅確保に努める。また、用途廃止対象住宅の入居者に対しては、丁寧かつ速やかに対応することで、住替えを促進する。		

成果指標	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
①	市営住宅入居率(%)	↑	入居戸数／管理戸数	目標		90	91	92	93
				実績	89.3	88	86.6		
②	高齢者向け住宅整備率(%)	↑	改善住宅戸数／整備計画戸数(用途廃止住宅除く)	目標		42.8	43.8	44.7	45.7
				実績	40.7	42.3	42.8		
③	市営住宅家賃、駐車場使用料現年度の徴収率(%)	↑	現年度収納額／現年度調定額	目標		98.5	98.6	98.7	98.8
				実績	97.9	99.5	99.2		
④	市営住宅の耐震化率(%)	↑	耐震基準(昭和56年基準)に適合した住宅の棟数/全管理住宅の棟数(但し、用途廃止住宅、借上げ住宅、公社住宅を除く)	目標		71.7	84.9	100	100
				実績	62.3	69.8	81.1		

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
543010	市営住宅等管理運営事業		178,263	7,557	180,823	7,628	08	04	01	住宅政策課
543024	市営住宅等整備保全事業	○	421,586	6,717	844,943	6,781	08	04	01	住宅政策課
543031	民間賃貸住宅ストック活用事業		67,848	2,099	67,848	2,119	08	04	01	住宅政策課
543042	用途廃止事業		28,242	10,076	20,226	10,171	08	04	01	住宅政策課

事業費合計(千円)	R3	R4
	695,939	1,113,840

大綱	5	環境・都市基盤
施策	55	交通・道路
実施施策 551 安全で快適な交通手段の確保		
評価部局： 都市交通部		関連部局： 交通局/市民自治部

実施施策の目標		本市の交通特性である市バスを運行していることや、市民の自転車利用が多いことなどを踏まえながら、ICTIによる先端技術導入も視野に入れた総合的な交通施策を推進する。 総合交通計画の基本目標①快適な移動を支える都市環境の整備、②交流を支える公共交通の充実、③地域資源と市民力を活用した交通まちづくり、に基づく各施策について、PDCAサイクルによる進捗管理を行いながら推進する。 災害時の避難路確保、まちの美観維持のため、自転車駐車場の利用促進や、自転車等の放置防止にかかる啓発・指導、放置車両の撤去などを通して、駅周辺の放置自転車対策を実施する。 市営自転車駐車場や中心市街地の市営駐車場の利用環境の確保と機能維持のため、計画的な維持管理と改修を推進する。 これらの取り組みを通して安全で快適な交通手段の確保を図る。									
令和4年度の計画		伊丹市総合交通計画（中間改訂版）に基づく各施策について、伊丹市総合交通会議での進捗管理・検証を踏まえながら推進する。 放置自転車対策事業については、引き続き、駐輪啓発指導を継続的に行う。また、撤去時間のランダム化を行い放置自転車等の減少を目指す。 自転車駐車場と駐車場については、引き続き、指定管理者制度による適切な管理・運営を実施する。また施設の保全については、平松自転車駐車場のバイコレーターの更新、宮ノ前地区地下駐車場の管制装置等の修繕を行う。									
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	自転車駐車場と駐車場の年間の利用台数（1日平均）はともに目標値を上回るなど、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向が見られる中、駐車場の利用者満足度の目標値を上回ることができた。また、放置自転車の台数は、引き続き減少させることができた。								
成果		・伊丹市総合交通会議を開催し、各施策の進捗状況について情報共有や課題整理を行った。 ・駐輪啓発指導員を配置するとともに、撤去時間をランダム化し、放置自転車の減少を図った。 ・宮ノ前地区地下駐車場の自動火災報知設備更新や平松自転車駐車場のバイコレーター更新などにより、施設の適切な管理運営に努めた。 ・JR伊丹駅前駐車場において、市民サービス向上及び市内観光の促進を図るため、R4年9月よりカーシェアリングサービス（2台）を開始した。									
課題		・新型コロナウイルス感染症による公共交通事業者への影響 ・効率的な放置自転車等の撤去策の検討 ・自転車駐車場・駐車場の計画的な設備更新									
令和5年度での対策・対応		・伊丹市総合交通計画（中間改訂版）に基づき、各種交通施策に取り組む。 ・引き続き、駐輪啓発指導員の配置、撤去時間のランダム化を行い放置自転車等台数の減少を図る。 ・自転車駐車場及び駐車場については、指定管理者制度による適切な施設の管理・運営を実施する。									
成果指標	指標名（単位）		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	放置自転車等台数（台）	↓	自転車等放置禁止区域内における特定日の放置自転車等の台数。	目標		120	119	118	117	
					実績	120	58	38			
	②	年間の自転車駐車場利用台数（1日平均）（台）	↑	鉄道駅周辺の市営自転車駐車場の年間の利用台数（1日平均）	目標		6,064	6,331	6,598	6,865	
					実績	6,865	5,999	6,370			
	③	自転車駐車場利用者満足度の割合（％）	↑	利用者満足度調査において「非常に満足」、「満足」と回答した割合	目標		80	80	80	80	
					実績	77	75	73			
	④	年間の駐車場利用台数（1日平均）（台）	↑	中心市街地駐車場及び伊丹市立文化会館駐車場の年間の利用台数（1日平均）	目標		750	770	791	812	
					実績	812	802	806			
	⑤	駐車場利用者満足度の割合（％）	↑	利用者満足度調査において「非常に満足」、「満足」と回答した割合	目標		80	80	80	80	
					実績	0	75	92			
	⑥	1日の鉄道乗降客数（人）	↑	市内鉄道駅における乗降客数（JRは年間の平均、阪急は調査日における数）	目標		72,240	82,560	92,880	103,200	
実績					103,200	87,087	91,497				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3（千円）		R4（千円）		款項目		担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費			
551013	総合交通計画施策推進事業				22,558	5,878	31,930	6,781	08 03 01 02 01 06	交通政策課	
551020	放置自転車対策事業				25,957	37,283	27,776	37,633	02 01 11	環境クリーンセンター業務課／都市安全企画課	
551030	自転車駐車場の利用促進事業				2,305	4,199	0	4,238	02 01 11	交通政策課	
551040	自転車駐車場管理運営事業			○	653	4,618	781	4,662	02 01 11	交通政策課	
551052	自転車駐車場整備保全事業				3,582	3,779	13,761	4,238	02 01 11	交通政策課	
551060	中心市街地駐車場管理運営事業			○	21,392	4,618	20,761	4,662	08 03 03	交通政策課	

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R3(千円)		R4(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
551072	中心市街地駐車場整備保全事業		7,788	4,618	23,290	5,086	08	03	03	交通政策課
事業費合計(千円)			R3		R4					
			84,235		118,299					

大綱 5 環境・都市基盤			
施策 55 交通・道路			
実施施策 552 市バスサービスの充実			
評価部局： 交通局		関連部局： ー	

実施施策の目標	伊丹市交通局的の経営目標である「安全・安心・快適な運行により、お客様に愛される市営バス」の実現に向けて、市内を網羅する市バス路線により、少子高齢化や人口減少等の課題に対応した施策を実施する。病院や空港等の主要施設へのアクセスを向上させ、市民の足として高齢者の健康づくりやまちの魅力の向上の一翼を担うことにより、あらゆる世代が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。										
令和4年度の計画	少子高齢化や人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新たな生活様式やリモートワークをはじめとする働き方の変化等、市営バスを取り巻く環境は日々変化しつつある。 このような現状の下、バス利用者のニーズは大きく変化し、交通局においても的確にニーズを読み取り、効率的かつ効果的なサービスの提供を行う。 導入予定の車内混雑情報システムを運用し、安心してご利用頂けるバス車内環境を実現するとともに、乗降客数データを集約し正確な利用実態の把握に努め、利便性と収益性を兼ね備えた運行ダイヤの研究・検討を進める。 また、市内を網羅する路線を活かし、病院や空港等の主要施設へのアクセス向上等、本市の魅力向上の一翼を担うことで、あらゆる世代が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。 令和4年度は「第4次アクションプラン」の初年度にあたる。アクションプランに定めた各施策を着実に推進・実行するとともに、環境の変化に柔軟に対応することで持続可能な経営基盤の確立を目指す。										
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	施策目標を達成するための各事業に関しては、いずれも着実に取り組みを進めることができた。 成果指標についても、当初定めた計画値とは依然として乖離しているものの、すべて改善傾向にある。								
成果	今年度から本格運用を開始した「バス車内混雑情報提供システム(いたみバスナビ)」は、多くの利用者から好評を得ており、より安心・便利に市営バスを利用していただけるようになったことで、市営バス利用者数の回復につながった。 また、引き続き利用状況に応じた減便ダイヤでの運行を行い、経費を最小限に抑えることで収支が改善された。										
課題	市営バス利用者数は回復してきてはいるものの、これは新型コロナウイルス感染症の収束によるところが大きい。 今後は、人々の生活様式の変化など、コロナ禍を契機とする社会変容等も踏まえながら、回復傾向にある移動需要の取り込みや新たな需要の喚起などに努め、更なる経営改善に取り組む必要がある。										
令和5年度での対策・対応	利用実態に見合ったダイヤ改正を実施し、運行効率の向上を図る。また、運賃改定の実施による収支改善を図りつつ、新たな需要を取り込む方策を検討する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	交通事業会計営業収支率(%)	↑	(営業収益÷営業費用)×100 (利用者の高齢化や人口減少を鑑み、基準年度実績値を下回らないことを目標とする)	目標		90	90	90	90	
					実績	90	76	80			
	②	有料券種年間輸送人員(万人)	↑	普通券、他社ICカード、回数券(紙・IC)、定期券、一日乗車券利用の年間輸送人員(生産年齢人口の減少を見込む)	目標		915	915	915	915	
					実績	915	595	642			
	③	一運行当たり平均輸送人員(人)	↑	市バス年間輸送人員÷年間総運行回数	目標		35	35	35	35	
					実績	35	31	33			
	④	市バス年間輸送人員(万人)	↑	市バス特別乗車証による輸送人員を含む年間総輸送人員	目標		1,527	1,527	1,527	1,527	
実績					1,527	1,191	1,263				
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費			
552012	市バス車庫等整備保全事業				0	840	0	848	企業		総務課
552020	交通事業経営健全化推進事業				0	8,397	0	8,476	企業		総務課
552030	市バスサービス向上推進事業				70,873	12,596	2,943	12,714	企業		運輸サービス課/企画営業課
552042	市バス車両更新事業				125,400	840	220,165	848	企業		運輸サービス課
552052	市バス停留所施設整備事業				1,825	2,519	1,744	2,543	企業		企画営業課

事業費合計(千円)					R3		R4	
					198,098		224,852	

大綱	5	環境・都市基盤
施策	55	交通・道路
実施施策 553 道路橋梁の整備・保全		
評価部局： 都市交通部		関連部局： ー

実施施策の目標		「都市計画道路整備プログラム」に基づき、(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)及び(都)塚口長尾線(昆陽南工区)の整備を進め、地域の安全性・防災性の向上及び良好で健全な市街地の形成を図る。 開発等の土地利用転換にあわせて、狭あい道路や隅切りの整備、交差点改良等を行うことにより、生活道路の安全確保及び交通の円滑化を図る。 「無電柱化推進計画」に基づき、中心市街地及び(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)、(都)塚口長尾線(昆陽南工区)の街路事業にあわせて電線類の地中化を推進し、防災機能の強化・向上、歩行者・自転車通行空間の確保及び良好な都市景観の形成を図る。 「道路インフラ長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋梁の計画的な補修及び耐震化を行う。 道路パトロールやインフラ通報システム等を活用した情報収集により道路状態を把握し、損傷個所の迅速かつ適切な補修を行う等、維持管理体制の充実を図る。 これらの取り組みを通じて、安全で安心・快適な道路空間の確保に努める。										
令和4年度の計画		(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)は、引き続き用地測量、物件調査及び用地取得を進めるとともに、工事着手を前提として取得した用地が、一定程度まとまって取得できた工区の西側から道路新設工事及び電線共同溝整備工事に着手する。 (都)塚口長尾線(昆陽南工区)の街路事業は、用地取得を進め、道路拡幅工事、水路ボックス工事及び電線共同溝整備工事に着手する。 開発等の土地利用転換にあわせて、狭あい道路や隅切りの整備、交差点改良等を実施し、生活道路の安全確保及び交通の円滑化を目指す。 市道中央天津線(産業道路より東側)の電線共同溝整備工事に着手、電線類の地中化を順次進めていく。 舗装長寿命化修繕計画を策定し、効率的な維持管理に努める。また、荒牧トンネルの拡幅工事に着手するとともに、補修・耐震化が求められる橋梁に対しては、補修補強の設計及び工事を推進し、道路の安全を確保する。										
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)、(都)塚口長尾線(昆陽南工区)ともに、用地取得を進め、工事施工が可能となった区間の工事に着手した。 開発等の土地利用転換にあわせて、狭あい道路や隅切りの整備、交差点改良等を行い、生活道路の安全確保並びに交通の円滑化が図れた。 市道中央天津線(産業道路より東側)の電線共同溝整備工事に着手した。市道宮ノ前4085号線については電線類の地中化が完了した。 計画的・効率的な舗装補修工事を実施するため、「舗装長寿命化修繕計画」を策定した。また、橋梁については、2巡目にあたる定期点検をすべて完了し、設計及び工事を実施することで、事業の進捗を図った。									
成果		(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)、(都)塚口長尾線(昆陽南工区)ともに、用地取得を進め工事に着手した。 計画的に安全な道路を維持するため「舗装長寿命化修繕計画」を策定した。また、橋梁については「道路インフラ長寿命化修繕計画」に基づき、補修補強の設計及び工事を実施した。										
課題		(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)の権利者への丁寧な対応が求められる。										
令和5年度での対策・対応		(都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)は、引き続き用地測量、物件調査を踏まえ用地取得を進めるとともに、工区の西側より順次工事を進める。県施行の(都)塚口長尾線についても順次工事が進められている。 市道中央天津線(産業道路より東側)の電線共同溝整備工事の完成、並びに電線類の共同溝への入線に向け、電線共同溝整備台帳の作成及び関係機関との調整を進める。 橋梁については補修補強設計及び工事を進め、定期点検の結果をもとに「道路インフラ長寿命化修繕計画」の見直しや、小規模附属物の点検及び修繕計画を策定する。引き続き、兵庫県と調整し、荒牧トンネル拡幅工事を推進する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度		R3	R4	R5	R6
	①	都市計画道路事業進捗率(%)	↑	整備事業進捗率(各年度累計事業費÷前期4力年事業費)	目標			8	46	81	100	
					実績	21	11	30				
	②	生活道路整備延長(km)	↑	生活道路(狭あい道路・交差点改良)の改良延長	目標			0.3	0.3	0.3	0.3	
					実績	0.4	0.3	0.4				
	③	電線共同溝整備事業進捗率(%)	↑	電線共同溝整備事業(各年度累計事業費÷前期4力年事業費)	目標			40	89	100	100	
					実績	0	50	87				
	④	早期に修繕が必要な橋梁の事業進捗率(%)	↑	H26年～H29年度に実施した1巡目の定期点検の結果、早期に修繕が必要(判定Ⅲ)な橋梁について、架け替え・修繕を行う。	目標			87	100	100	100	
					実績	78	100	100				
	⑤	補修工事実施橋梁数(橋)	↑	道路インフラ長寿命化計画に基づき補修工事を実施した橋梁数(累計)	目標			9	39	80	122	
実績					26	17	37					
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
553012	都市計画道路整備事業			○	269,605	20,153	317,862	25,428	08 03 02	道路建設課		
553022	県施行街路負担金事業			○	66,844	5,878	43,322	5,933	08 03 02	道路建設課		
553032	生活道路整備事業				12,335	13,435	19,376	13,562	08 02 03	道路建設課		
553042	電線共同溝整備事業			○	174,450	15,954	64,107	19,495	08 02 03	道路建設課		

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R3(千円)		R4(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
553052	道路維持補修事業	○	140,088	15,534	169,937	25,852	08	02	02	道路保全課
553062	橋梁長寿命化事業	○	398,302	18,473	243,551	37,294	08	02	04	道路保全課
553070	道路維持管理事業		157,807	50,382	210,290	29,242	08	02	02	道路保全課
553080	地籍調査事業		5,282	5,878	5,742	5,086	02	03	02	土地調査課
553090	道路実態調査事業	○	3,399	4,199	61,837	4,662	08	02	01	土地調査課
553100	市道等境界明示事業		394	13,435	822	13,562	08	02	01	土地調査課
事業費合計(千円)			R3		R4					
			1,228,506		1,136,846					

大綱	5	環境・都市基盤
施策	55	交通・道路
実施施策 554 道路安全対策の推進		
評価部局： 都市交通部		関連部局： ー

実施施策の目標		道路の安全性向上のため、警察や国・県など関係機関と連携し、効果的な新工法等の導入を検討するなど現場状況に応じた安全対策を推進する。 「自転車活用推進計画」に基づき、市道昆陽車塚線及び県道山本伊丹線の自転車レーンの整備を進めるとともに、自転車需要の多い道路において、注意喚起標識や走行位置を表示したピクトマークを設置するなど、自転車と歩行者双方の安全性の向上を図る。 「通学路安全対策推進会議」を継続し、定期的な合同点検を行うなど通学路の安全対策を推進する。 大きく成長した街路樹による、歩道幅員の圧迫や、根上りにより通行支障などの課題が生じている市道伊丹森本線や市道桑津口酒井線等において、「街路樹管理計画」に基づき、歩道の再整備工事を行う。 これらの取り組みを通じて、道路安全対策の推進を図る。										
令和4年度の計画		市道昆陽車塚線自転車レーン整備工事において、円滑に関係機関との調整を行い、令和4年度内の完了を目指す。 千葉県八街市の事故を受け実施した通学路総点検箇所について、安全対策工事を実施する。また、小学校からの要望等に基づき、必要に応じて合同点検を行い、対策を講じる。 街路樹管理計画に基づき、市道桑津口酒井線の歩道再整備工事を行い、安全・安心な通行空間を確保する。										
令和4年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	市道昆陽車塚線の自転車レーン整備を完了させ、供用を開始した。また、合同点検に基づく通学路安全対策工事を実施し、安全を確保した。								
成果		市道昆陽車塚線の自転車レーン整備を完了し、通学路の安全対策工事を実施した。										
課題		狭幅員の歩道や通学路の安全について、引き続き対策が必要である。										
令和5年度での対策・対応		「通学路安全対策推進会議」を通じて、定期的な合同点検を行うなど通学路の安全対策を推進する。また、転落防止柵の新設及び更新や点字ブロック設置等の安全対策を行う。 市道荒牧荻野線や市道桑津口酒井線などの歩道再整備工事を行い、安全・安心な通行空間を確保する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度		R3	R4	R5	R6
	①	自転車レーン等整備区間延長(km)	↑	市道に自転車レーン等を整備した区間の総延長		目標	R元		5.8	5.8	6.1	6.6
						実績	4.4		5.6	5.8		
	②	通学路合同点検の実施件数(回)	↑	小学校、PTA、教育委員会、道路管理者(国・県・市)、警察等が連携して行う合同点検回数		目標			4	4	4	4
						実績	4		17	4		
	③	歩道(街路樹)再整備延長(km)	↑	歩道の再整備を実施した路線の整備総延長		目標			0.6	1.5	2.2	2.4
						実績	0		0.4	0.4		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
554012	道路安全対策事業				21,448	10,916	33,199	7,628	08	02	02	道路保全課
554022	自転車レーン等整備事業			○	114,034	5,878	26,508	5,086	08	02	02	道路保全課/道路建設課
554032	歩道(街路樹)再整備事業				34,888	6,718	0	2,119	08	02	02	道路保全課
事業費合計(千円)					R3		R4					
					170,370		59,707					

大綱	5	環境・都市基盤
施策	56	水道・下水道
実施施策 561 水道施設の整備保全		
評価部局： 上下水道局		関連部局： —

実施施策の目標	現在、市内には水道配水管が547km布設されている。 このうち老朽化が進んでいる配水管について、耐用年数が長く、地震に強い管(耐震管)へ計画的に更新していくことで、管路全体の強化を図っている。 第6次総合計画期間においても、引き続き年間7kmについて更新・耐震化を実施し、伊丹市の水道事業の基本理念である「未来につなぐ 安全・安心な 伊丹の水道」の実現に向けて、市民生活を支えるライフラインの強靱化を図り、安全・安心な水道水を将来にわたって安定的に供給する。									
令和4年度の計画	市民に安全・安心な水道水を安定的に供給するため、経営戦略に基づき計画的に老朽化した配水管や施設の更新・耐震化を実施する。令和4年度は、老朽化した水道配水管7,000mを地震に強い耐震管に更新し、赤水や出水不良の軽減と管路の耐震化を行う。また、千僧浄水場の1系ポンプ井耐震補強工事の他、老朽化した設備の更新改良工事を行う。さらに、老朽化した工業用水道配水管427mを地震に強い耐震管に更新し、産業活動に不可欠なインフラである工業用水を安定的に供給する。									
令和4年度事後評価	☆☆☆☆	評価の理由	配水管及び浄水場等施設の更新・耐震補強工事について、計画通りに実施できた。							
成果	配水管及び浄水場等施設の更新・耐震化を進め、安全で安心な水道水の安定供給を維持し、耐震性の強化を図ることができた。									
課題	配水管や水道施設の更新・耐震化を更に進めていくためには、財源の確保やダウンサイジング等施設規模の適正化が課題となる。									
令和5年度での対策・対応	配水管の更新・耐震化及び千僧浄水場の施設更新等について、経営戦略に基づき計画的に実施する。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等	-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	老朽配水管の解消率(%)	↑	昭和57年度以前布設の老朽配水管に対する、昭和60年度以降の更新・改良延長(km)の整備進捗率<更新・改良延長(km)/昭和57年度以前布設の老朽配水管(320km)>	目標		67	69	71	73
					実績	63	67	69		
	②	配水管の耐震適合率(%)	↑	市内の配水管に対する、耐震適合性のある管の整備率<耐震適合配水管延長(m)/配水管延長(m)>	目標		36	38	39	40
					実績	34	36	38		
	③	老朽配水管の更新・改良延長(m)	↑	当該年度に配水管を更新・改良した延長	目標		7,000	7,000	7,000	7,000
					実績	7,286	7,104	7,844		
	④	浄水場等施設耐震補強工事の進捗率(%)	↑	千僧浄水場等施設耐震化計画(32箇所)に対しての耐震補強進捗率	目標		91	94	94	97
					実績	87	97	100		
	⑤	経常収支比率(%)	↑	(営業収益+営業外収益)／(営業費用+営業外費用)×100 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもの	目標		100.86	104.89	103.9	106.56
実績					109.79	109.3	107			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目	担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費		
561012	工業用水配水管改良事業				112,025	10,076	0	10,171	企業	水道課
561022	水道配水管改良事業				763,599	37,787	894,303	38,142	企業	水道課
561032	千僧浄水場等施設整備事業				351,446	18,893	237,978	19,071	企業	浄水課/水道課
561042	上下水道局庁舎の整備保全事業				182,058	11,420	-	-	企業	経営企画課
事業費合計(千円)					R3		R4			
					1,409,128		1,132,281			

大綱	5	環境・都市基盤
施策	56	水道・下水道
実施施策 562 下水道施設の整備保全		
評価部局： 上下水道局		関連部局： ー

実施施策の目標	現在、市内の污水管渠は476km敷設されているが、昭和40年代初期に整備されたヒューム管の老朽化が進行している。污水管渠の老朽化は、流下不足に伴う各家庭への污水逆流や污水管渠破損による道路陥没等につながることを防ぐため、未然に防止すべく、計画的に老朽化した管渠の中に新たに管渠を築造する管渠更生工事による長寿命化を図っている。 第6次総合計画の前期4カ年、令和3年度から令和6年度においては、管渠詳細調査で判明している老朽化の緊急度が高い箇所から毎年度2kmについて長寿命化対策工事を実施し、安全・安心な市民生活の確保と、効率的且つ効果的な污水管渠の長寿命化に努める。		
令和4年度の計画	老朽化の進行により、緊急度が高い污水管渠について、管渠更生工事を約2km実施する。毎年度約2km更生工事を実施することにより、将来に渡って管渠の健全度を保つことができ、流下不足による各家庭への污水逆流や管渠破損による道路陥没の防止に繋げる。 また、今後の更新の基礎資料とすべく老朽管渠調査を約9km実施する。		
令和4年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	長寿命化実施率及び実施延長、管渠調査実施率及び実施延長ともに計画値を若干下回り成果指標の目標を達成できなかったが、管渠調査に関して令和4年度は、大口径管渠の調査のため、目標値9kmに設定しており、目標値通り達成した。管渠更生工事の未達の主な要因は労務単価及び資材価格の高騰による施工単価の上昇により、施工量が減少した。
成果	下水道ストックマネジメント計画に基づき老朽化が著しい污水管渠について、管渠更生工事を約1.8km実施し、污水管渠の長寿命化に努めた。また污水管渠の健全度を判断するため、污水管渠調査を約9.0km実施し、今後の効果的な補修及び更生を行うための基礎資料とした。		
課題	国庫補助金の交付状況により、事業の進捗が遅れる可能性がある。		
令和5年度での対策・対応	下水道ストックマネジメント計画に基づき、引き続き污水管渠の更生工事を約2.0km、污水管渠の調査業務を約15.0km実施する。		

	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
成果指標	① 長寿命化実施率(%)	↑	今後長寿命化対策が必要な污水管渠(ヒューム管196km)のうち、対策が完了した管渠の割合	目標		21.8	22.9	23.9	24.9
				実績	18.5	21.9	22.8		
	② 管渠調査実施率(%)	↑	污水管渠全体(ヒューム管+塩ビ管476km)に占める調査済み管渠の割合	目標		37.1	40.3	43.4	46.6
				実績	30.8	37	40		
	③ 経常収支比率(%)	↑	(営業収益+営業外収益)÷(営業費用+営業外費用)×100 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもの	目標		106.83	107	107.44	107.37
				実績	112	116.12	112.15		
	④ 長寿命化実施延長(km)	↑	長寿命化対策が必要な污水管渠(ヒューム管196km)に対する対策済管渠延長	目標		42.8	44.8	46.8	48.8
				実績	36.2	42.9	44.7		
	⑤ 管渠調査実施延長(km)	↑	詳細調査が必要な污水管渠(476km)に対する詳細調査済管渠延長	目標		176.6	191.6	206.6	221.6
				実績	146.6	176.3	185.6		

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R3(千円)		R4(千円)		款項目	担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費		
562014	污水管渠更新事業		270,338	29,809	268,575	36,447	企業	下水道課
562024	水路改良事業		23,078	9,657	18,542	13,138	企業	下水道課

事業費合計(千円)	R3	R4
	293,416	287,117

大綱5 環境・都市基盤

511	環境保全体制の整備と啓発推進	
511033	地球温暖化対策推進事業	グリーン戦略室・生活環境課
【事業概要・成果】 地球温暖化対策に関する取組を実施。 ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、伊丹市ゼロカーボンシティを宣言。 ・市民・事業者とともに地球温暖化対策に資する再エネ・省エネ普及促進の取組を実施。 * 市民向けに太陽光パネル等共同購入事業を実施。(申込者数228件) * 市内事業と市が連携し、再エネ電力の共同調達事業を実施。 (調達施設数 市:187施設 市内事業者:5施設) * 民間事業者等と連携し、日々の暮らしの中で取り組める再エネ・省エネの取組の体験型啓発イベントを実施。(参加者数5,164人) * 公共施設を対象に太陽光パネルの導入可能性調査を実施。 ・市民団体と連携したグリーンカーテン用の苗の育成・配布。 ・市内小・中学生を対象に環境問題をテーマとしたポスター・標語を募集。(応募件数3,083件)		



環境ポスター入選作品

512	環境美化と公衆衛生の向上																	
512030	市営斎場管理運営事業											生活環境課						
【事業概要・成果】 市営斎場について、指定管理者の適正かつ円滑な管理により、市民が安全かつ安心して使える火葬・葬儀施設の適切な運用を図っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、当該感染症にかかる火葬に対応した。また、火葬数の増加に適切に対応した。																		
【施設利用状況】																		
年度	R2						R3						R4					
区分	火葬		焼却		式場利用		火葬		焼却		式場利用		火葬		焼却		式場利用	
	市内	市外	市内	市外	第一	第二	市内	市外	市内	市外	第一	第二	市内	市外	市内	市外	第一	第二
件数	1,608	184	71	5	12	7	1,647	224	71	5	0	1	1,811	232	68	4	16	3
合計	1,792		76		19		1,871		76		1		2,043		72		19	

531	緑化の推進および生物多様性の保全														
531010	みどりのプラザ管理運営事業		みどり自然課												
【事業概要・成果】 みどりのプラザは、特定非営利活動法人荒牧みどり推進協議会が指定管理者として管理運営 【展示・講習会事業】 季節毎の植物や花に関する展示、花やみどりに関する市民作品等の展示、園芸植物の栽培講習会、しめ縄作りなど植物や花を活用する講習会 等 【啓発事業】 春・秋の園芸市など緑化啓発・園芸振興等の催しを実施 【施設利用状況】 <table><thead><tr><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr></thead><tbody><tr><td>年間入館者数</td><td>19,545人</td><td>23,120人</td><td>43,025人</td></tr><tr><td>講習会参加者数</td><td>126人 (延10回実施)</td><td>176人 (延17回実施)</td><td>337人 (延26回実施)</td></tr></tbody></table>  【講習会風景】 (押し花展・押し花講習会)				年度	R2	R3	R4	年間入館者数	19,545人	23,120人	43,025人	講習会参加者数	126人 (延10回実施)	176人 (延17回実施)	337人 (延26回実施)
年度	R2	R3	R4												
年間入館者数	19,545人	23,120人	43,025人												
講習会参加者数	126人 (延10回実施)	176人 (延17回実施)	337人 (延26回実施)												



【講習会風景】
(押し花展・押し花講習会)

531033	生物多様性施策推進事業	みどり自然課
【事業概要・成果】 ① 昆陽池公園における市民協働による自然環境再生の取組 ・ 協働相手: 市民団体「伊丹の自然を守り育てる会」、事業者等 ・ 内容: 樹林地の植生管理、ホタルの再生、オニバス・ヨシの植栽・管理 ② 伊丹生きもののマイスター講座及びスキルアップ講座の実施 ・ 目的: 実践的な講座を通して生物多様性保全に取り組む人材を育成 ・ 内容: 生物多様性に関する全9回の講座、及び市内動植物調査(チョウ・水生生物等)、瑞ヶ池公園内「猪名の笹原モデル園」維持管理 等 ③ 生物多様性交流フェスティバルの実施 ・ 目的: 生物多様性に係る活動団体等の交流及び市民への普及啓発 ・ 内容: 活動に関するポスター展示及び発表会 ④ 特定外来生物「アルゼンチンアリ」の防除の実施		
【活動風景】 (外来植物の防除(於: 昆陽池公園))		
【活動参加者数の推移】		
	R2	268人
	R3	396人
	R4	391人

531040	緑化推進事業	みどり自然課																										
【事業概要・成果】		【協定件数等の推移】																										
① 緑の充実と質の向上のため、市民協働による右記事業を実施 ・ 公共用地等の植栽帯や花壇を市民団体が主体となって管理運営する「市民緑化協定」 ・ 市民力による公園緑地における緑化活動を支援する「伊丹市公園アダプト事業」 ・ 公共施設の緑の充実を図るための人材を育成する「花と緑のまちづくり市民サポーター養成講座」 ② バラを植栽・管理することで、特色ある緑化推進を実施 ・ 荒牧学園線、荒牧下ノ池緑地、ローズレー梅ノ木 等		<table><tr><th colspan="2">年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr><tr><td rowspan="5">市民緑化協定</td><td>緑化維持管理協定</td><td>24件</td><td>23件</td><td>24件</td></tr><tr><td>コミュニティ花壇管理運営協定</td><td>81件</td><td>82件</td><td>82件</td></tr><tr><td>まちなみ修景小規模花壇等管理運営協定</td><td>9件</td><td>9件</td><td>9件</td></tr><tr><td>公園アダプト活動団体数</td><td>6団体</td><td>6団体</td><td>6団体</td></tr><tr><td>花と緑のまちづくり市民サポーター養成講座 修了者数</td><td>17名</td><td>10名</td><td>6名</td></tr></table>	年度		R2	R3	R4	市民緑化協定	緑化維持管理協定	24件	23件	24件	コミュニティ花壇管理運営協定	81件	82件	82件	まちなみ修景小規模花壇等管理運営協定	9件	9件	9件	公園アダプト活動団体数	6団体	6団体	6団体	花と緑のまちづくり市民サポーター養成講座 修了者数	17名	10名	6名
年度		R2	R3	R4																								
市民緑化協定	緑化維持管理協定	24件	23件	24件																								
	コミュニティ花壇管理運営協定	81件	82件	82件																								
	まちなみ修景小規模花壇等管理運営協定	9件	9件	9件																								
	公園アダプト活動団体数	6団体	6団体	6団体																								
	花と緑のまちづくり市民サポーター養成講座 修了者数	17名	10名	6名																								

531050	昆虫館管理運営事業	みどり自然課																		
【事業概要・成果】 伊丹市昆虫館は公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団が指定管理者として管理運営 斬新で独自性のある事業を企画し、昆虫館の魅力向上に努めた 【展示事業】 チョウ温室等の常設展示、特別展「昆虫ずかんだいさくせん」、企画展「クモの網これくしょん」「むしのうんこ展」等 【教育普及事業】 生物多様性講演会、学校教育における環境学習への連携・支援、他施設との連携事業（伊丹郷町館との『鳴く虫と郷町』）等、様々な講座・イベントを実施		【施設利用状況】 <table><tr><th>年度</th><th>年間入館者数</th></tr><tr><td>R2</td><td>94,411人</td></tr><tr><td>R3</td><td>123,872人</td></tr><tr><td>R4</td><td>142,394人</td></tr></table>			年度	年間入館者数	R2	94,411人	R3	123,872人	R4	142,394人								
年度	年間入館者数																			
R2	94,411人																			
R3	123,872人																			
R4	142,394人																			
		【教育普及事業実施状況】 <table><tr><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th></tr><tr><td>講座参加者数</td><td>975人</td><td>3,763人</td><td>10,037人</td></tr><tr><td>学校連携（教員研修等）</td><td>1,555人</td><td>2,408人</td><td>2,506人</td></tr><tr><td>レファレンス対応</td><td>1,327人</td><td>658人</td><td>936人</td></tr></table>			年度	R2	R3	R4	講座参加者数	975人	3,763人	10,037人	学校連携（教員研修等）	1,555人	2,408人	2,506人	レファレンス対応	1,327人	658人	936人
年度	R2	R3	R4																	
講座参加者数	975人	3,763人	10,037人																	
学校連携（教員研修等）	1,555人	2,408人	2,506人																	
レファレンス対応	1,327人	658人	936人																	

532	公園緑地の整備・保全	
532012	公園緑地等整備保全事業	公園課
【事業概要・成果】 あぜみち公園・若菱公園・千僧公園・新伊丹公園・長尾公園の再整備工事、南式タ塚公園他5公園と千僧広畑児童遊園地他4児童遊園地の遊具・フェンス等の更新工事及び下河原緑地展望デッキ上部の更新工事を実施した。また、瑞穂緑地水景施設のポンプ設備等を更新するための詳細設計委託業務を実施した。		
		
		あぜみち公園 複合遊具

541	建築物の安全・安心の確保													
541030	空家等対策事業	建築指導課												
【事業概要・成果】 特定空家等除却補助の申請は無かった。継続して空家等除却支援を行っていく。 特定空家等に認定され、住宅地区改良法に基づく不良度判定において、評点が100点以上となる不良住宅に対して、除却費用を一部補助することにより、危険な状態にある住宅を減らし、居住環境の整備改善及び地域の活性化を図る。														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>空家等除却工事費補助</th><th>事業費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td><td>0戸</td><td>0円</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>0戸</td><td>0円</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>0戸</td><td>0円</td></tr> </tbody> </table>			区分	空家等除却工事費補助	事業費	R2	0戸	0円	R3	0戸	0円	R4	0戸	0円
区分	空家等除却工事費補助	事業費												
R2	0戸	0円												
R3	0戸	0円												
R4	0戸	0円												

541041

空き家活用支援事業

住宅政策課

【事業概要・成果】

空き家の解消を図り、併せて市内への定住の促進を図るため、令和3年度より築20年以上など一定の条件を満たす空き家を購入し、居住用として活用する世帯に改修工事費の一部を支援している。
令和4年度については、2世帯に対して合計3,000千円の補助を行った。

補助実績

年度	補助件数 (うち同居近居加算)	補助額
R3	1件 (1件)	1,700,000円
R4	2件 (0件)	3,000,000円

543	公営住宅の適正管理			
543024	市営住宅等整備保全事業	住宅政策課		
【事業概要・成果】				
市営住宅等整備計画に基づき、既存市営住宅を長期にわたり維持するための耐震補強及び外壁・屋上防水改修工事を実施するとともに、エレベーター設置工事を実施した。				
また、エレベーターが設置されていない住宅の1階の住戸について、高齢者向け改修工事を実施した。 (住宅名及び工事内容)				
住宅名	山道3号館	天神川3・5号館	荻野1・2・3号館	鶴田1・2号館
工事内容	耐震補強・外壁改修	耐震補強・外壁改修	耐震補強・外壁屋上防水改修	屋上防水改修
住宅名	玉田6・9号館	天神川第2		
工事内容	エレベーター設置工事	高齢者向け改修		

551	安全で快適な交通手段の確保			
551040	自転車駐車場管理運営事業	交通政策課		
【事業概要・成果】				
市立船原自転車駐車場他9箇所は、平成18年度より指定管理施設として一括管理運営を開始。令和3年度より利用料金制を導入。(指定管理者: 令和3年度～ ミディ総合管理株式会社)				
平松自転車駐車場においてバイコレーターを更新するなど、施設の適切な管理運営に努めた。				
施設名		年度	利用台数 (1日平均(台))	自転車駐車場 利用料(円)
船原自転車駐車場 他9箇所		R2	5,850	142,997,460
		R3	5,999	148,850,110
		R4	6,370	162,035,120

551060

中心市街地駐車場管理運営事業

交通政策課

【事業概要・成果】

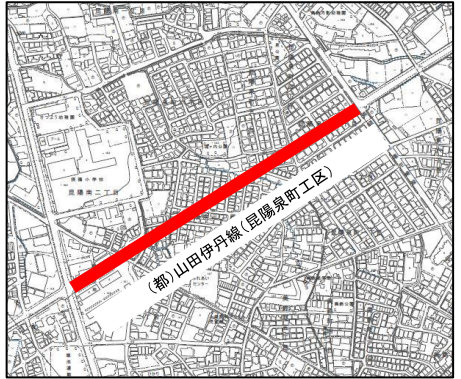
宮ノ前地区地下駐車場他2箇所は、平成26年度より利用料金制による指定管理施設として一括管理運営を開始。
(指定管理者: 令和2年度～ タイムズグループ)
設備の更新など施設の適切な管理運営に努めた。
また、JR伊丹駅前駐車場において、市民サービス向上及び市内観光の促進を図るため、R4.9よりカーシェアリングサービスを開始した。

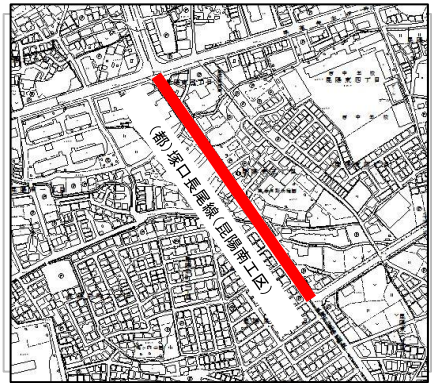


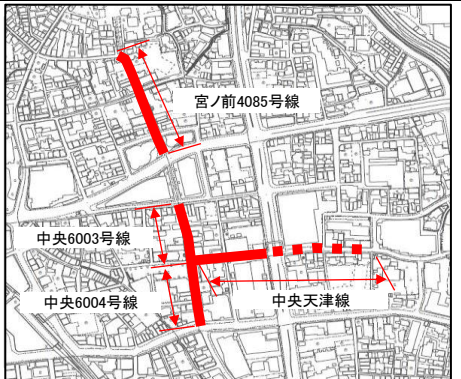
(コンパクトエコカー2台)

施設名	年度	利用台数(台)	駐車場利用料(円)
宮ノ前地区地下駐車場	R2	100,797	65,546,730
	R3	124,031	81,145,310
	R4	121,424	81,177,200
JR伊丹駅前駐車場	R2	94,346	56,482,735
	R3	91,737	58,430,930
	R4	98,803	62,578,200
アリオ地下駐車場	R2	77,553	25,063,528
	R3	77,134	28,153,000
	R4	73,830	28,052,290
合計	R2	272,696	147,092,993
	R3	292,902	167,729,240
	R4	294,057	171,807,690

大綱5 環境・都市基盤

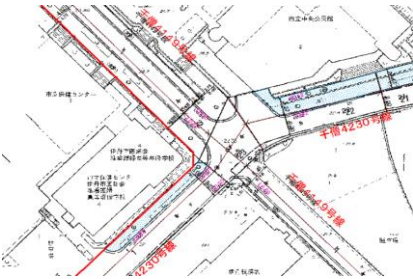
553	道路橋梁の整備・保全	
553012	都市計画道路整備事業	道路建設課
【事業概要・成果】 (都)山田伊丹線(昆陽泉町工区)は「都市計画道路整備プログラム」の前期4ヵ年に位置付けられた都市計画道路で、都市計画法に基づき平成30年8月24日付けで事業認可を取得。認可を受けた事業計画に基づき、道路整備を実施する。 【主な内容】 ・用地測量及び物件調査業務を実施 ・用地買収を実施 ・道路新設工事及び電線共同溝整備工事着手		

553022	県施行街路負担金事業	道路建設課
【事業概要・成果】 兵庫県社会基盤整備プログラムの前期5ヵ年に位置付けられた都市計画道路事業で、都市計画法に基づき平成30年6月22日付けで事業認可を取得。兵庫県が施行している都市計画道路整備であり、応分の負担を行うことにより、一層の整備促進を図る。 【事業中路線】 塚口長尾線(昆陽南工区) 【主な内容】 用地買収を実施、歩道拡幅工事着手		

553042	電線共同溝整備事業	道路建設課
【事業概要・成果】 中心市街地の4極2軸路線において、電線等の地中化により、良好な都市景観を創出するとともに、災害時における道路への二次災害防止を図るもの。 【主な内容】 ・市道宮ノ前4085号線の電線類の地中化完了 ・市道中央天津線(産業道路より東側)の電線共同溝整備工事着手		

553052	道路維持補修事業	道路保全課
【事業概要・成果】 安全な道路を維持するため、「舗装長寿命化修繕計画」を策定し、舗装の補修工事を実施。 また、荒牧トンネルの拡幅事業を推進。 ＜舗装補修工事＞ 【対象路線】 市道森本口酒井線ほか7路線 7,425㎡ 【主な内容】 舗装補修を実施 ＜荒牧トンネル拡幅工事＞ 【対象路線】 市道長尾荒牧線 【主な内容】 トンネル閉塞・迂回路整備・仮設工を実施		＜舗装補修＞ 市道森本口酒井線(森本3丁目)

553062	橋梁長寿命化事業	道路保全課
【事業概要・成果】 「道路インフラ長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の計画的な耐震及び修繕工事を実施。		《塗替え塗装》 
【対象橋梁】 （耐震化） 神津大橋、武庫川新橋、第二荒牧橋 （修 繕） 有岡大橋ほか16橋		
【主な内容】 （耐震化） 落橋防止装置工、橋脚巻立て工ほか （修 繕） 断面補修工、橋面防水工ほか		佐々原歩道橋（南野5丁目）

553090	道路実態調査事業	土地調査課
【事業概要・成果】 官民共に時間や場所にとらわれない新たな働き方を実現するために道路台帳をデジタル化し、インターネット上で公開することで、閲覧のための来庁機会を減らすとともに、地図として全庁的に利用可能なデータ整備を行った。また、あわせて新規認定や改良等による現況変化について道路台帳を修正した。		
【主な内容：市内全域の伊丹市道】 ・路線数（総路線数）：2,376路線 ・路線総延長：409km ・橋梁数：445箇所 ・踏切数：12箇所 ・トンネル数：1箇所		（道路台帳デジタル化イメージ）

554	道路安全対策の推進	
554022	自転車レーン等整備事業	道路保全課
【事業概要・成果】 自転車や歩行者が安全・快適に利用できる通行空間を確保するため、「自転車活用推進計画」に基づき、市道昆陽車塚線の自転車レーン整備が完成。		
【対象路線】 市道昆陽車塚線 L = 70m（全体延長 L = 1.4km）		
【主な内容】 ・自転車レーンの整備 ・歩道のセミフラット化 ・排水性、透水性舗装の実施		市道昆陽車塚線（昆陽南1丁目）